

はなわ 議会だより

2014
No.125

発行/福島県塙町議会
平成26年1月24日



「おはようございます」
元気に3学期スタート（塙小学校）

平成25年
12月定例会など

新しい道の駅はなわへ P 2

水道料金等値上げ P 3

町の考えを問う
(8議員が一般質問) P 4

議会が変わります P 15

上水道・農集排・下水道条例改正 消費税分3%値上げ！ **可決**

水道料金比較

1人1日200ℓ使用×4人家族×30日=24m³ 一般用

	新料金	旧料金
10m ³ まで基本料金	1,296円	1,260円
超過料金(1m ³)	14m ³ ×154円	14m ³ ×150円
メーター使用料13mm	103円	100円
合計	3,555円	3,460円

95円の値上げ

消費税法改正に伴い、上水道使用料金、農業集落排水使用料金と下水道使用料金を値上げする条例を可決しました。
標準モデル世帯〔4人家族(父・母・子ども2人)〕の1ヶ月の使用料金の値上げ分は次のとおりです。
※水道と下水道料金は、2か月まとめて請求されます。

下水道使用料金比較

4人家族で24m³使用の場合

	新料金	旧料金
10m ³ まで基本料金	1,296円	1,260円
超過料金(1m ³)	14m ³ ×194円	14m ³ ×189円
合計	4,012円	3,906円

106円の値上げ

農業集落排水使用料金比較

4人家族で一般用

	新料金	旧料金
1世帯当たり基本料金	1,841円	1,790円
世帯員1人当たり	4人×360円	4人×350円
合計	3,281円	3,190円

91円の値上げ

使用料は目安です。
※1ヶ月の水道使用量を24m³として算出

平成25年12月定例会は、12月13日から17日までの会期で開催されました。定例会では、条例など町提出議案18件を審議し、全会一致で原案のとおり可決・承認しました。また、議員発議1件を可決しました。一般質問では、8名の議員が登壇し、木質バイオマス発電事業中止などについて質問しました。



新しい道の駅はなわ

道の駅はなわ 指定管理者の指定 全会一致で可決 新しい道の駅へ

9月議会で道の駅はなわの施設管理を指定管理者が行えるように条例を改正しました。このほど公募により、次の団体が選定され、本定例会で指定管理者として指定されることが決定しました。

・指定管理者となる団体

一般財団法人
天領の郷はなわ

代表理事 藤田雅彦

・指定管理の期間

平成26年1月1日～
平成29年3月31日

※指定管理者制度
民間の技術・情報を活用することによって町(公)の施設の効率的かつ効果的な管理及び住民サービスの向上を実現することを目的とする。

日本初 3県にまたがる 定住自立圏の取り組み

八溝山周辺地域定住自立圏形成協定の締結

八溝山を囲むその周辺地(栃木県大田原市・那須塩原市・那須町・那珂川町・棚倉町・矢祭町・茨城県大子町)が定住自立圏構想を策定するため協定締結することを全会一致で可決しました。協定は中心市となる大田原市と埴町とで結ばれ、今後、医療・福祉・交通などで連携して具体的政策実現を検討していくとしています。
2県での取り組みは他でもありますが、3県にまたがる取り組みは初めてです。

質疑

鈴木(孝) 協定内容に行政クラウドは含まれるのか。
答弁 含まれていない。

※行政(自治体)クラウド自治体が情報システム等を自らの庁舎内で保有・管理するのではなく、庁外のデータセンターで保有・管理し、通信回線を経由して利用する形態

八溝山周辺 地域定住 自立圏 協定の締結 **可決**

八溝山周辺地域定住自立圏構想とは ～地方でも安心して暮らせる地域を～

総人口の減少や少子化・高齢化が進む中、地方において安心して暮らせる地域を各地に形成するため都市機能を持った「中心市」と「周辺市町村」が相互に役割分担し、連携・協力するもので、地方の人口定住を促進するための事業です。

総務省の重点事業として平成21年度にスタートし、各地で取り組みが進んでいます。

構想を策定すると人口や面積などに応じ中心市・周辺市町村は様々な財政措置が受けられます。

バイオマス発電事業白紙撤回の所感は 小峰由久議員 除染目的といわれ残念 菊池町長



質問 木質バイオマス発電事業誘致の白紙撤回の心境は。

答弁 山林整備に効果的な事業との考えであったが、除染目的といわれ、残念である。

質問 企業誘致への影響は。

答弁 企業誘致に積極的に取り組む。

質問 山林整備、林業育成策は。

答弁 重要な政策課題であり、森林再生事業等を活用し、取り組む。



材木町の土地

質問 事業の総括・反省を今後はどう生かすのか。

答弁 除染ではないということと森林整備のためということがうまく伝わらなかった。今後は森林整備に重点をおきたい。

質問 材木町の製材業跡地を取得・活用し、福祉町を形成してはどうか。

答弁 子育て世代の賃貸マンション、避難者の分譲マンションと健康センターを組み合わせて検討する。

質問 材木町の製材業跡地を取得・活用し、福祉町を形成してはどうか。

答弁 土地所有者と話しを進める。

材木町の土地を取得し、福祉町の形成を検討していく



利用者は少なかった

質問 バスの実証実験は利用者は少なかった。

質問 田代地区の公共交通実証実験の実績と評価は。

答弁 利用者は3カ月で142人、利用目的は通院、買い物、介護等だった。この路線があればいいという意見もあった。

質問 住民の意識調査は。

答弁 アンケート集計中であるが、運行時間等の意見が寄せられている。

ここがききたい 一般質問

8議員 町の考えを問う

一般質問とは議員が町の行財政全般について、町に疑問点を質問し、考えを求めるものです。町民に代わって町の運営を監視する議員が、議員しかできない権限として与えられています。

若者定住促進のための取り組みは 魅力ある町づくりを 小貫初枝議員 菊池町長



質問 若者定住促進のための取り組みは。

答弁 少子化により若者が減っているのが現実である。若者が定住するための魅力ある町、若者向けの住宅の建設と企業誘致で定住人口促進を考えている。旧老人ホームの空き地があり、有効利用できないか水面下で地権者と交渉を進めている。

質問 若者定住促進のための取り組みは。

答弁 少子高齢化は、対策をとらなければ延々と続くと思われ。議会では、常陸太田市に定住人口促進の視察を行った。常陸太田市では次のような政策を行っていた。

- ①新婚家庭の家賃助成（最大3年間、月2万円助成）
- ②定住促進助成（市内に住宅取得の子育て世代に最大20万円助成）
- ③民間賃貸住宅建築促進助成（アパート等の建築主に固定資産税等

の50%を5年間助成等）の取り組みをどう考えるか。

答弁 埴町で行っている事業もある。18歳以下医療費無償化など、重複しているものもある。常陸太田市とは規模や税収が違うが、できるものから取り組んでいきたい。

企業誘致中止今後の町政は 信頼される町づくりを

藤田高志議員

菊池町長



質問 森林をどう活用し、森林を活用した新たな雇用はあるか。

答弁 森林整備

対象事業を利用し、そこからスタートしたい。

ダリア等の更なる活用は 東京聖栄大学と連携強化



産業祭に出店

質問 地域特産品(ダリア等)の更なる活用をどう考えるか。

答弁 東京聖栄大学・道の駅はなわと連携し、ダリアの粉末を使った「まんじゅう」「クッキー」の研究を進めていく。産業祭でも試食してもらった。

質問 ダリア関連を一元化し、管理・開発等をする考えはあるか。

答弁 産品開発事業・新規活用等などで、広く連携し、進めたい。



キャンペーンのためのワークショップ

質問 観光を利用した具体的な町活性化の考えは。

答弁 平成27年度に、中通りを中心に福島県デスティネーションキャンペーンが予定されている。体験型の観光ができるようにしたい。「観光ストーリー」を作り、デスティネーションキャンペーンでPRしたい。

※デスティネーションキャンペーン
JR6社と地元の観光関係者や自治体が一体となって展開する大型観光キャンペーン

観光を利用した町の活性化は 体験型の観光を

質問 木質バイオマス発電事業誘致が中止になり、その影響と今後の町政運営は。

答弁 除染目的と報道され、町民に伝わらなかった。町民に正しく理解・信頼され、企業が来るような町づくりをしたい。

質問 木を使った芸術品・木工品で起業する場合、優遇措置などを考えているか。

答弁 木の安全性を確かめ、一過性のものではなく、木の製品開発について考えたい。

塙の米を練馬・葛飾の学校給食に 学校給食には厳しい

吉田克則議員

菊池町長



米の全袋検査

質問 平成25年産米全袋検査結果で塙町産米は全て安全性が確認されたのか。また、塙町安全・安心の米づくり事業(放射性物質の吸収を抑制するために、塩化カリ肥料を水田にまく)の評価は。

答弁 米全袋検査の実施率は93%。自家保有米等の検査が残っているが現時点では全ての米の安全が確認された。安全・安心の米づくり事業の効果はあったと評価できる。

質問 安全安心を確認した塙町産米を防災協定を締結している練馬区・葛飾区の学校給食に供給する取り組みはできないか。

答弁 風評被害を払拭しきれないのが現状であり、学校給食に提供するととなると厳しいものがある。福島県産米全での安全性を高める努力をしなければならぬ。



米の安全は確認された

町が行う介護支援事業とは 町単独でも実施

質問 現行の介護支援事業にはどのようなものがあるのか。

答弁 介護保険制度によるものと町単独で行っている紙おむつ給付事業・寝具消毒丸洗い乾燥事業がある。

質問 自宅で介護をしている家庭に対する介護支援金給付はできないか。

答弁 可能かどうか検討したい。

学童保育料金の値下げを

要望があれば見直したい



鈴木幸江議員

菊池町長

質問

ひとり親世帯など利用者への状況に合わせた軽減措置も必要ではないか。

答弁

相談窓口を利用してほしい。

質問

現行の運営は二丁ズにあつてはいるのか。開設時間・開設日・対象学年拡大等、利用しやすくなる見直しは必要ではないか。

答弁

二丁ズ調査では、開設時間延長及び対象学年拡大の要望は少数で

あつた。今後も利用しやすいよう検討していきたい。

質問

現在計画している健康センター内に多世代交流及び学童保育スペース設置を検討してはどうか。

答弁

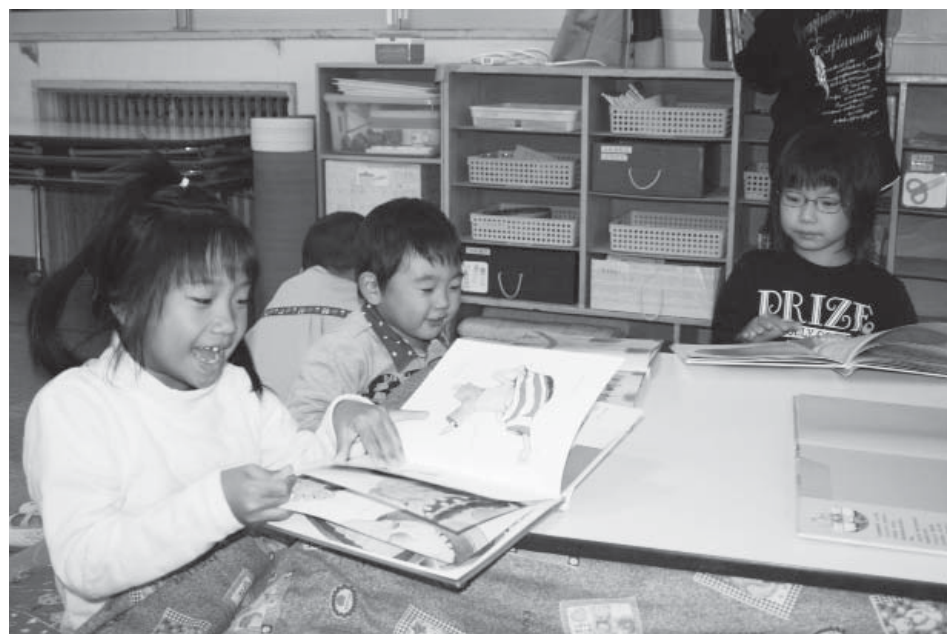
多世代が支え合えるセンターにしたい。もう少し時間をかけ検討したい。

質問

今後の子育て支援と具体的事業はどうあるべきと考えるか。「紙おむつ支給事業」等があつてもよいのではないか。

答弁

少子化対策・結婚促進・雇用確保・企業誘致を視野に安心感を与えられるよう、多くの意見を聴きながら進めたい。紙おむつ支給も要望が多ければ実施したい。



預かり保育と学童保育を一緒に実施

道路除雪は大丈夫か 除雪車2台態勢で実施

鈴木 茂議員

菊池町長



新しく購入したホイルローダー

質問

冬期間の除雪は町民にとって重要である。対応は大丈夫か。

答弁

新しくホイルローダーを購入した。万全を期す。

質問

生活弱者等の生活道を除雪できないか。

答弁

前向きに検討したい。

イノシン被害の対策強化は 駆除に努力する

質問

詳細なイノシン被害の調査をしてはどうか。

答弁

調査よりも駆除に努力する。

質問

新しい防護柵(イノシン被害防止フェンス)の効果と費用は。

答弁

効果は認められる。柵の値段は1メートル850円と少し高いが導入していく。

質問

東白川郡の駆除隊が連携できないか。

答弁

町村会で協議して検討したい。

道の駅これからの経営は 新法人が取り組む

質問

道の駅と町との関係はどうなるのか。

答弁

副町長が理事になり対応する。

質問

観光と交流の取り組みは。

答弁

新しい形態になるが、いいものから取り組む。

質問

経営方針に助言はするののか。

答弁

新法人が取り組む。

質問

周辺環境を新たに整



新たにスタートする道の駅はなわ

健康センターの基本構想は 今年度中にできるよう進める

藤田一男議員

菊池町長



答弁
経費が負担
になると思
うが。

質問
土地代などを含め建設にかかる費用は、町はどの程度負担し、維持管理費はいくらぐらいかかるのか。

答弁
水面下で用地交渉をしている。

質問
基本構想ができていない段階で振興計画に載っているのはどういうことか。

質問
健康センターの基本構想はどの程度進んでいるのか。

質問
少子高齢化が進む中、人口・利用者が減ってくと維持費が容易でなくなる。経費が負担になると思

答弁
地権者と誠意を持って話し、理解を得てから進めたい。

質問
どの程度かもわからない中で議会としては検討のしようがない。ある程度進んでからでは遅い。必要性があることで行うことであり、基本構想ができてから進めるべきでは。

答弁
用地交渉が進んでいない。これから先のことでわからない。詳細な計画ができれば議会に提案する。

質問
基本構想はいつ頃できるのか。

答弁
今年度中にできるよ



今日も笑顔で

なぜ敬老祝い金が振り込みになったのか 現金支給でトラブルがあった

鈴木安次議員

菊池町長



答弁
来年度は
どうするか
検討する。

質問
口座番号
の管理方法
は。

答弁
厳重に管理している。

質問
口座番号を多数保管
しているのは危険では
ないか。

答弁
検討して口座番号を
焼却する等方法を考え
る。

質問
通帳のコピーを役場
まで届ける苦労を知っ
ているか。



敬老の日おめでとう

質問
健康センターはどの
ような施設にしようと
考えているか。

答弁
お年寄りが共同で健
康に暮らせ、子どもた
ちも遊びに来られるよ
うな施設にしたい。

質問
平成26年度の振興計
画に載っているが、具
体的な内容は。

このほかの質問
「今後の埴町の農林
業振興策について」

健康センターとは お年寄りが共同で 暮らせる施設

答弁
事務レベルでは考え
ている。組織を立ち上
げて検討したい。

質問
建設費はどれくらい
かかると考えているか。

答弁
建物やスペース次第
だが、5〜6億円かか
ると考えている。

質問
人口が減少する中で
若い人達に負担をかけ
る施設になるのではな
いか。

答弁
若い人達に負担をか
けないよう、企業誘致
などを行い、財源を確
保し無駄な経費をかけ
ず、施設建設を考えたい。

条例の制定

子ども・子育て 会議条例

子ども・子育てに携わる人たちの意見を取り入れ、地域の子ども・子育て環境の充実を図るため協議の場を設置する。

質 疑

鈴木（幸） 様々な立場から委員が選ばれるようだが委員が20名で足りるのか不安である。
答弁 人数より中身が大切である。必要であれば検討しなければならないがこれで進めたい。

条例の改正

後期高齢者医療に関する条例
地方税法の改正による。

諸収入金に対する督促手数料及び遅滞金徴収条例
地方税法の改正による。

農業集落排水事業排水処理条例

下水道条例

上下水道事業給水条例

※詳しくは3ページ

埤町下水道事業受益者負担及び分担に関する条例

地方税法の改正による。

専決処分

平成25年度一般会計補正予算（第4号）
歳入歳出それぞれ888万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額を61億15万2千円にした。

補正予算

会 計 名	補 正 額	補正後の額
一 般 会 計	1億644万円	62億6660万円
国民健康保険特別会計	2431万円	11億8213万円
農業集落排水処理事業特別会計	44万円	1億8671万円
公共下水道事業特別会計	893万円	1億9147万円
介護保険特別会計	2415万円	8億6730万円
後期高齢者医療特別会計	14万円	9090万円

補正予算のあらまし

質 疑

一般会計

収納成果は

小林 町税滞納分の予算が増えているのは収入が

納成果が上がったからか。また、超過勤務手当増の内容は。
答弁 10月末の収納済額を計上した。11月末で更に増加しており、徴収率も1.2%増加し、成果は上がっている。

る。徴収事務に必要な額である。

行政区長会の懇親会費とは

鈴木（安） 行政区長会の懇親会費とは。
答弁 震災時の区長会が地震により、流れってしまったのでこれから行う予定である。

臨時交付金の使い道は

鈴木（安） 地域の元氣臨時交付金の使い道は。
答弁 水道事業へ充当する。

道の駅委託料の増額とは

鈴木（安） 道の駅の指定管理委託料が5百万円増となり、2千万円になっている。どのように使うのか。
答弁 増額したのは1月から3月までの指定管理委託料である。

その他

指定管理者の指定について
※詳しくは2ページ

八溝山周辺地域定住自立圏形成協定の締結
※詳しくは2・3ページ

人事案件

金澤 誠治氏（台宿）
任命に同意



訂正
議会だより124号の一部に誤りがありました。
3ページ一般会計歳入・内訳のグラフで、町債2%とあるのは、9%の間違いです。お詫びして訂正いたします。

蒼ヶ島の予算は

藤田（一） 蒼ヶ島整備の予算が計上されていないがどのようにしているか。
答弁 用地境界確定後新たに検討したい。

森林交付金の減額とは

藤田（一） 森林整備活動支援交付金の大幅減額はなぜか。
答弁 森林組合に委託したが、新たな事業などで人手不足で取り組めなかった。また、バイオマス反対運動も影響したと考える。

道路敷購入とは

小林 埤若宮支線道路敷購入とは。
答弁 道路敷が個人の土地となっていた。現在まで借りていたが、地主との話がまとまらなかったため購入する。

IP告知システム 工事とは

鈴木（幸） IP告知システム関連工事の内容は。個人負担はあるのか。
答弁 新設、移設工事である。個人負担はないが新年度から徴収するように検討している。

鈴木（孝） 安易に負担なしでIP告知システムの移設工事を認めるのはいかがか。
答弁 検討し対応する。

異文化体験事業 の検討を

藤田（高） 異文化体験研修事業委託料は減額せず、いろいろな体験をさせてはどうか。
答弁 3年計画の事業である。今後、評価しより良い事業を検討する。

鈴木（幸） 異文化体験研修事業の参加者が少なかった。補助金の額は妥当か。
答弁 研修先はブリ

テッシュヒルズで参加者は25人。本人負担は6千円であった。今後、中学校と協議して参加者を増やしたい。

激励金の増額を

藤田（高） 全国大会出場者への激励金の増額を検討してはどうか。
答弁 その都度判断したい。

産品開発補助の内容は

鈴木（幸） 産品開発事業補助金50万円増の内容は。
答弁 柿を使った産品と寺西代官のファイルづくりである。

リフォーム補助 件数は

小貫 住まい環境リフォーム補助金の申請件数は。
答弁 現在まで20件、今後、20件を見込んでいる。

公共下水道事業 特別会計 損害賠償請求は

鈴木（茂） 汚染された汚泥処分の損害賠償は請求したのか。
答弁 平成24年度までは賠償金を受領している。25年度分はこれから請求する。

藤田（一） 汚泥処分の委託料の内容と処分先は。
答弁 放射線量が下がったので運搬処分と容器の処分をする。県外で焼却処分する。



仮置きされている下水汚泥

議会が変わります

議会基本条例 制定へ

住民に開かれた議会と議員の資質向上のため議会基本条例制定に向けて協議しています。基本条例とは議会活動の基本的考え方をまとめたもので今後の議会活動の指針になるものです。

ここが変わります

- ・常任委員会等の公開
- ・重要案件の審議充実（特別委員会設置）
- ・視察研修など議会活動の公表

インターネット中継始めます

一般質問を録画し、議会の様子をいつでも見られるようにします。

積極的な情報発信

議会の情報をより早く皆さんにお届けするため、議会だよりの発行を早めるほかフェイスブック・ツイッターを利用して議会活動の状況を発信していきます。

※フェイスブック

インターネット上で人同士がつながり、交流をするサービス

※ツイッター

140文字以内の短い投稿などによりインターネット上で情報を共有するサービス

<https://twitter.com/GikaiHanawa>

10年後8,000人、
20年後7,000人

埴町の人口予測

平成26年1月10日 全員協議会を開催し、町の人口減少対策（結婚促進、若者向け住宅、子育て支援など）説明を受け、今まで視察研修した常陸太田市、磐梯町との比較などを行いました。

議員からは、「若者向け住宅建築も大切だが、企業誘致が先ではないか」や「賃貸住宅の家賃補助を考へては」などの意見がありました。

急速な人口減少問題に対応することが急務であり、少子化・若者定住対策等を研究し、議会として政策提言していきます。

議長の一言

議員の顔が見えない、何もやらない等の声があります。地域の各種整備もかなり進んできた中、議会に対するニーズも大きく変わってきています。町民との距離をどう埋めるべきか、早期に改善策を打ち出します。ぜひ議会を見て確かめ、また、意見をいただきたいと思ひます。と同時に議員自らも大きく変わらなければなりません。

埴町議会議長 鈴木道男

定期監査等報告書から（抜粋）

平成25年12月9日議長に提出されました。

監査した結果、財務に関する事務及びこれに関連する事務並びに経営にかかる事業の管理については、おおむね適正に執行されているものの、後述のとおり一部に改善又は検討を要する事項が認められた。これらについては、その内容を十分に検討し、速やかに必要な措置を講ずるなど、今後の適正な事務事業の執行に万全を期されたい。また、監査の過程において、事務手続上の軽微な誤謬等で、改善を要する事項が見受けられたが、担当課等の長に口頭指導した。なお、これまでの懸案事項であった町税等の収納事務において改善の兆しが見られた。今後一層努力されることを望むものである。

改善又は検討を要する事項

- (1) 債権管理及び収入事務に関する事項
 - ・債権の償却基準が不明確（水道課）
 - ・徴収権が失効していると思われる債権多数（水道課）（再）
 - ・多額の貸付債権返済遅延（学校教育課）
 - ・各種納付金の口座振替推進不足
 - ・直接収納による現金管理認識不足
- (2) 財産管理に関する事項
 - ・財産台帳未整備、現地確認不徹底（再）
 - ・備品管理台帳未整備、現物照合未確認（再）
 - ・土地・建物の未登記多数（再）（まち整備課）
 - ・普通財産貸付料基準が不明確
 - ・行政財産と普通財産の区分及び事務取扱が不明瞭
 - ・指定管理施設の管理分担の不徹底
 - ・町有財産の損害保険加入基準不明確
- (3) 補助金、交付金の運用に関する事項
 - ・補助金等の行政効果、必要性の見直し検討不足（再）
- (4) 事務管理、人事管理に関する事項
 - ・文書保存管理簿未作成（総務課）（再）
 - ・奨学資金貸付残高集計表未作成（学校教育課）
 - ・職員の健康管理不徹底（総務課）
 - ・給与等口座振替推進不徹底（総務課）
- (5) その他
 - ・条例・規則等の妥当性、整合性検討および整備（再）
 - ・役場庁舎内外の整理整頓及び清掃（再）

要望事項

- ・問題滞納者（悪質、常習、長期、多重等）への給付、交付、取引の制限（再）
- ・町総合計画目標管理の促進・各種行政情報の公表方法要改善
- ・備品に区分されない高額物品等の管理（再）・未利用財産及び低利用財産の有効活用
- ・管理業務委託施設の効率的な管理（給食センター、図書館）
- ・運営形態の検討（保育園）

埴町監査委員 石川 昭彦
埴町監査委員 大縄 武夫

請願

政府が米の需給と価格に責任を持つ米政策の確立を求める請願
請願者 福島県南農民組合

代表者 大竹 利男
紹介議員 小貫 初枝
審査結果 不採択

きかけることについて
請願者 東石民主商工会
会 長 熊井 利治
紹介議員 小貫 初枝
審査結果 不採択

国に対し「消費税増税の提出を求める意見書」
請願者 東石民主商工会
会 長 熊井 利治
紹介議員 小貫 初枝

審査結果 不採択
TTP交渉に関する請願
請願者 福島県南農民組合
代表者 大竹 利男
紹介議員 小貫 初枝

意見書

審査結果 不採択
東京電力福島第一原子力発電所における汚染水問題の早期解決を求める意見書

追跡レポート ～ 一般質問のその後 ～

定例会で行われた一般質問の中からピックアップしその後の動き、現在の状況を調査しました。

ホームページの充実を

埴町のホームページを確認したところ、1年前とほぼ変わらず更新されていない項目があるなど改善すべき点があると感じた。

若手職員に編集・操作資料の配付、パソコン上での操作説明等、技術の向上に努めているようだが、わかりやすい情報、興味を引くレイアウト等、工夫により、活発な情報発信に務め、多くの人に見てもらえるページづくりを望む。

埴町ホームページ <http://www.town.hanawa.fukushima.jp/>
お問い合わせ 総務課 e-mail: soumu@town.hanawa.fukushima.jp
(電話 43-2111) まで。



質問 ホームページでの発信が足りないと感じる。工夫や改善は考えているか。

答弁 職員の研修等でホームページの編集技術を上させ、もっとPRできる体制をつくっていききたい。(平成24年12月定例会)

ホームページの活用を

議会議員と意見交換しませんか

議会議員と意見交換会をする団体を募集しています。町民または町内に勤務しているおおむね10人以上のグループが対象で、ご希望の会場に伺います。お申し込みは、議会事務局(TEL 43-2150)にお願いします。

議会だよりモニターさんの声

- ・ 一般質問は一人1ページでわかりやすい。
- ・ 用語の説明について
- ・ わからない用語は説明してほしい。
- ・ 決算審査について
- ・ 数字よりグラフで分かりやすくしてほしい。
- ・ そのほかの意見
- ・ ほかの議会報などの良いところを取り入れてほしい。
- ・ 議員がどのような考えを主張しているかのせて欲しい。

議会傍聴に おいでください

次回の定例会は、3月6日に開会される予定です。主に平成26年度予算について審議します。

※議会会議録は、図書館・議会事務局、またはホームページでもご覧になれます。

大募集

議会だより表紙写真



表紙の写真を募集します。

テーマ

「子どもの笑顔」
町内で撮影されたものに限る

応募規格

・ カラープリント2Lサイズ以上、または、撮影したデータの容量が2MB以上であること

そのほか

・ 応募作品はお返しできませんので、ご了承ください。

・ 応募作品は編集の都合上、トリミングを行うことがあります。

応募締切

平成26年3月28日(金)

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

連絡先

議会事務局 Tel 43-2150
Eメール gikai@town.hanawa.fukushima.jp
ホームページ <http://www.town.hanawa.fukushima.jp/view.rbz?cd=255>

モニター会議開催 親しみを感じるように



たくさんの方に読んでもらえるように

11月27日、モニター会議が開催され、次のような意見が出されました。

- ・ 文章のみのページは読まない。
- ・ 一般質問の見出しのページはいらぬ。
- ・ もっとタイトルを目立たせ、内容を具体的に。
- ・ 議員個人に親しみを感じるような工夫を。
- ・ 伝えるだけでなく、問いかけるような記事を。

皆さんの団体やサークルに広報常任委員が伺います。

団体の名称：真名畑いきいき健康教室
活動場所：真名畑分館 代表者：緑川テツミさん・石井清美さん



みんなワイワイ いろんなことにチャレンジ

保健推進員だった緑川テツミさんがグループを立ち上げました。人数は21人、60〜80代

で月1回活動しています。内容は季節に合わせ、お花見・お茶会、うちの飾り付け、新聞紙でエコバックづくり、手打ちうどんづくり、真名畑いきいき健康教室VS上石井いきいき健康教室でカローリングの試合、レクダンス、絵を描く記憶ゲーム、折

り紙など幅広く活動しています。

取材に伺った当日は、岩手県・宮城県の郷土料理「がんとつき」（蒸しパンのようなもの）と「コーンスープ」を手作りしました。主婦歴の長い皆さんの調理は手際よく、また、役割分担がすばらしく料理が出来上がる頃には片付けまで終わっていました。

いきいき健康教室は、皆さんの情報交換の場。お茶を飲みながら、わいわい楽しそう。先輩主婦から料理や生活の知恵を教わるなど伝統が引き継がれる場でもあります。初めて食べた「がんとつき」は、懐かしく、手作りのやさしい味がしました。皆さんのやさしさの味でした。

編集後記

あけましておめでとうございます。本号は議会終了後、一か月以内の発行を目指した初めての取り組みであります。今、議会では様々な改革に取り組みしています。議会は「執行機関と一歩離れ、二歩離れるな。」の原則通り、執行機関に近づき過ぎず、離れ過ぎず適正な判断をしていかなければなりません。大震災から間もなく三年、まだまだ風評被害が続く、原発事故からの復興の見通しも立っていません。このような時にこそ、我々議員が住民の代弁者として襟を正して頑張っていかなければならないと考えています。この一年が町民の皆様にとって明るい年でありますように。

鈴木 安次

グループ募集

グループ紹介「みんないきいき」に登場してくれるグループを募集します。お問い合わせ・申し込みは議会事務局（Tel 43-2150）までお願いします。

広報常任委員会

委員長 鈴木 幸江
副委員長 吉田 克則
委員 小貫 初枝
委員 鈴木 安次

発行者 堀町議会議員 鈴木 道男
編集 堀町議会広報常任委員会

〒983-5492 福島県東白川郡堀町大字堀字大町三丁目21
TEL 0247-43-2150 FAX 0247-43-2116

URL <http://www.town.hanawa.fukushima.jp/>
E-mail gikai@town.hanawa.fukushima.jp